

なごやの学童保育

市連協ニュース

2020年度 No. 7/1月5日発行
 名古屋市学童保育連絡協議会
 TEL (052) - 872 - 1972
 FAX (052) - 308 - 3324
 E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

学童の待機児童 18人

名古屋市が初調査

名古屋市がまとめた学童保育所での申込状況等のアンケート調査によると、市の学童保育での待機児童は18人でした。児童館とトワイライトルーム分を含めると21人です。市が待機児童数を公表するのは初めてです。

市は従来、トワイライトスクールとトワイライトルームの17時までには定員がないため「名古屋市は待機児童ゼロ」としていました。しかしスクールは空き教室で学びや体験の機会を提供する事業です。ルームは17-19時に登録児童のみ延長で滞在できるスクールです。いずれも留守家庭児童を預かる学童保育とは役割が異なります。名古屋市学童保育連絡協議会(市連協)は独自のアンケート結果をもとに市に調査を要求。20年度に市が初めてアンケートを実施し、今回の調査結果となりました。

市は2021年度分の同様のアンケートも各学童保育所に依頼中です。待機児童の実態をより明確にするため、積極的に協力しましょう。

新型コロナに新助成

名古屋市が説明会

名古屋市は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策助成」の要項を公表し、2020年12月17日に説明会を開きました。申請期限は21年1月7日で、同2月28日までの納品・履行分が対象です。留意点は以下の通りです。

【以前の関連助成からの追加項目】

- ・指導室の消毒等の委託経費・感染症対策に関する研修受講経費
- ・オンライン会議への参加に要する機器
- ・感染症対策に関する業務を行う職員の手当等

【注意】

- ・以前の助成での購入品との二重計上をしない。
- ・2万円未満の消耗品の購入予定は見積書の写しは不要
- ・職員の手当等への活用は、常勤職員配置等助成、処遇改善等事業助成、キャリアアップ処遇改善事業助成との重複申請をしない。

県知事が木造施設視察 市局長が木質化見学

愛知県や名古屋市に学童保育の木造化・木質化に関心を示す動きがありました。

大村秀章愛知県知事は2020年12月4日に、緑区のあおぞら学童保育クラブに来所し、県産木材の利用を促す県の「木の香る都市(まち)づくり事業」を活用して建てられた木造施設を視察しました。



同クラブの保護者や指導員が知事を案内し、施設の概要や新施設での保育の変化を映像を交えて説明しました。さらに学童保育所の木造化を目指す団体「森と子ども未来会議」の代表が「森林との連携」を、同クラブ

の保護者OBである市連協会長が木の香る都市づくり事業の同施設実現に果たした役割を伝えました。大村知事は、「板倉」という特別な工法や、たくさんの木材を使う施設であることに興味を持ち、「木のぬくもりが感じられ、子どもたちの感性に働きかける良い施設」と、木造学童保育の有用性に理解を示しました。

名古屋市子ども青少年局の局長らは20年12月21日、港区の中川学童保育所を訪れ、「木質化」した施設を見学しました。同施設は名古屋市が貸与するプレハブ製ですが、2019年度の新築時に保護者が追加費用を負担し、床や壁を無垢の木材製にしています。

市連協は2020年度に「学童保育施設の木造化・木質化」を市に要望しています。実現に向け、県や市の理解を深める活動を続けましょう。